

大師堂住宅団地が完成 竣工式を行いました



テープカットで竣工を祝いました。今回の竣工で、計画された住宅の再整備は完了となります

災害公営住宅「大師堂住宅団地」が完成し、4月7日、竣工式が行われました。この団地は、仮設住宅に使われていた資材を、県から譲り受けて建設しました。木材をふんだんに使ったデザインで、車いすでも生活しやすい設計の住戸も備えています。式では、菅野村長があいさつし、「震災後に整備した大谷地団地、桶地内団地はほぼ満室。大師堂住宅は景色もよく、立派な木材を再利用できたことにも価値がある。入居者を募っていきたい」と述べ、関係者に感謝しました。

いいたてクリニックでも 薬が受け取れます

いいたてクリニックに調剤室が整備され、薬剤師による薬の院内処方が行われるようになりました。利用者は、クリニックでの受け取りの他、村外の薬局でも、薬を受け取ることができます。初日の4月2日は、15人が院内処方を利用。「今日からはここで」と新しい取り組みを歓迎しました。同クリニックは、総合診療科の診察を、火・木曜日の午前8時30分から午後0時30分まで（受付は午前8時20分から11時30分）行っていて、診察の予約も可能です。（いいたてクリニック ☎0244-68-2277）



薬の説明もていねいに。「利用しやすい工夫をしていきたい」と薬剤師の佐藤勝博さん（左）

運営協議会を開催 介護の充実に連携を

3月26日、村役場で、「飯館村地域包括支援センター運営協議会」が開かれ、介護保険のサービス事業者、サービスの利用者など、7人の方に、委員の委嘱状が交付されました。任期は、令和4年3月25日までです。委員長には、いいたてホームの小川秀行施設長が選ばれました。この協議会は、地域包括支援センターの健全で円滑な運営を図るために設置されるもので、村の現状に合ったサービスの提供が実施されているかなどについて、情報共有や検証を行っていきます。



介護福祉・地域包括ケアの重要度が増す中、課題の克服などにも連携して取り組んでいきます



トップ画面の「知る」「食べる」「楽しむ」「買う」などのボタンから、見たい情報を選べます

までい館ホームページ

右のQRコードからアクセスできます▶



今年2月末に開設された「いいたて村の道の駅までい館」の公式ホームページ（<http://madeikan.com/>）。村の公式キャラクター・イタネちゃんが、道の駅はもちろん村の魅力も紹介しています。道の駅のフェイスブックにもつながるので、その日の話題やイベントをチェックすることもできます。ホームページは内容を更新しながら、活用の幅を広げていく予定です。ぜひご活用ください。道の駅に関するお問い合わせは、「いいたて村の道の駅までい館」☎0244-42-1080まで。

JAふくしま未来から 村社協に車椅子の寄贈



左からJAふくしま未来・高橋祐一飯館総合支店長、高橋亘さん、長谷川さん、村社協・安部事務局長

4月17日、「JAふくしま未来」そうま地区JA共済代理店協議会飯館支部（白石自動車整備工場・飯館自動車工業・渡辺輪業自動車整備工場・佐藤モータース・大澤自動車整備工場・オートショップ山田・あぶくま自動車販売）から、車椅子1台が、村社会福祉協議会に寄贈されました。寄贈式では飯館支部長の高橋亘さん（上飯樋）が「お年寄りのために役立ててください」と寄贈を行い、村社協副会長の長谷川花子さん（前田）が「大切にに使わせていただきます」と感謝を述べました。

有害鳥獣の被害から 農地・農作物を守ります！

4月2日、村役場で、「飯館村鳥獣被害対策実施隊」の編成会議が開かれ、21人に委嘱状が交付されました。委嘱期間は、令和3年3月31日までです。隊長には、昨年度に引き続き、菅野満郎さん（深谷）が選ばれました。

同隊は、村内各所で、有害鳥獣の捕獲等を行います。昨年度は、イノシシ736頭、サル20頭を捕獲するなど、大きな実績を上げています。村内で被害を目的した際には、産業振興課農政第二係 ☎0244-42-1625までご連絡ください。



有害鳥獣の被害拡大は全国的な問題。菅野村長は隊の取り組みに改めて感謝を伝えました